



重文 紺紙金泥般若心経 後奈良天皇宸筆 室町時代

天文9年(1540) 諸国に疫病が蔓延し、病死する人が絶えなかった状況を自らの徳が至らぬためとして後奈良天皇が書写した『般若心経』。



醍醐天皇像 室町時代

醍醐寺を御願寺とした醍醐天皇。その深い帰依により、薬師堂や五大堂などが建立され、醍醐寺草創期の礎が築かれた。

醍醐寺は、貞観16年(874)に弘法大師空海の孫弟子、理源大師聖宝により開かれ、本年、令和6年(2024)、開創から1150年という記念の年を迎えました。本展では、平安時代の開創以来、長きにわたり歴代先師が守り継いできた宝物の中から、特に公家(こうげ=天皇・朝廷・また近侍する朝臣)ゆかりの品を展示いたします。

醍醐天皇の御願により造られた「薬師三尊像」(国宝)や「五大明王像」(重文)をはじめ、後宇多法皇宸筆「当流紹隆教誡」(国宝)、後奈良天皇宸筆「紺紙金泥般若心経」(重文)など、醍醐寺と公家の深い関わりを感じていただければ幸いです。

このほか、春にまつわる作品も出陳いたします。醍醐寺の歴史と春を、どうぞお楽しみください。



倭花名品 三熊露香筆 江戸時代

当時の代表的な桜、楊貴妃、奈良八重桜など36品種に、醍醐山の名花「玉桜」を加えた桜画。



富士浅間権現立像 江戸時代

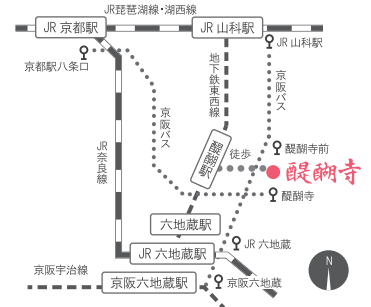
富士山に祀られている木花咲耶姫の権現像。木花咲耶姫は、美しく儂く散るものの象徴とされ、桜の神様ともいわれる。

拝観案内

- ・拝観時間：9時～17時(受付終了16時30分)
- ・ご入場には、文化財維持寄付金として500円以上のご寄進をお願いしております。 ※別途、拝観料大人1500円、中高生1000円(三寶院庭園・伽藍・靈宝館庭園)必要
- ・寺内行事等により、予告なく展覧会の中止や会期の変更を行う可能性があります。

交通案内

- ・市営地下鉄東西線「醍醐」駅下車2番出口より徒歩約10分
- ・京阪バス22/22A系統「醍醐寺前」、301系統「醍醐寺」下車すぐ



〒601-1325 京都市伏見区醍醐東大路町22

TEL 075-571-0002

醍醐寺 HP

<https://www.daigoji.or.jp/>



醍醐寺霊宝館とは

彫刻、絵画、工芸、古文書など、醍醐寺に伝承されている10万点以上の寺宝の保存と公開を兼ねた施設。春と秋には特別展が行われ、テーマに沿って寺宝の一部が公開されます。



霊宝館(平成館) ※本展の展示作品とは異なります



春の霊宝館庭園

醍醐寺開創 1150 年慶讃大法要

令和6年(2024)11月14日～11月18日

令和6年(2024)は 醍醐寺開創1150年です

世界文化遺産

World Cultural Heritage

總本山 醍醐寺

